

川上ダム通信

2017
6
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

Vol. 141
Since 2005

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右の QR コードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



川上ダムの1日でも早い完成を!

～川上ダム建設促進期成同盟会総会・意見交換会においてダム本体工事を説明～

5月8日(月)、青山ハーモニーフォレスト(伊賀市種生)において、大森伊賀市副市長、木津県議会議員をはじめとした来賓の方々を招いて「川上ダム建設促進期成同盟会総会」が2年ぶりに開催されました。

総会では、西山現会長から ^{そまかわ} 杣川新会長へ会長の改選が行われた他、川上ダムの早期着工及び建設促進を図るための活動計画等が承認されました。退任された西山氏には、平成17年2月の同盟会設立以来12年間にわたり、川上ダム事業に対するご支援をいただきました。誠にありがとうございました。



川上ダム本体建設工事について説明する北牧所長
(川上ダム建設促進期成同盟会の意見交換会にて)

総会後の意見交換会では、約40名の参加の下、川上ダム建設所北牧所長より、今年度の事業実施内容の他、4月3日

に官報に入札公告した川上ダム本体建設工事の概要について説明しました。説明の中で「今年度内には本体工事に着手したい。地域の資産として川上ダムを活用して欲しい。未来永劫良いダムであるために、建設段階でやっておくべきことを、地域の皆様のご意見を聞きながら進めていきたい」と述べました。

これを受けて、参加者から「1日でも早いダムの完成を願いたい」とのご要望等をいただきました。

～伊賀市議会議員全員協議会においてダム本体工事を説明～

5月16日(火)に開催された伊賀市議会議員全員協議会の間でも、報告事項として川上ダム本体建設工事について説明する機会を得ました。伊賀市議会議員全24名および、岡本伊賀市長をはじめとする伊賀市幹部を含む約60名の前で、北牧所長より説明を行いました。北牧所長は、この場でも「未来にわたって資産として活用していただくとともに、地域の方々に誇りに思ってもらえるダムにしたい」と述べました。

当建設所では、川上ダム本体工事に関する進捗状況について、今後説明する機会が増えることと思います。そのような機会において、わかりやすい説明に努めるとともに、地元の皆様や関係する皆様のご意見等をいただきながら、着実な工事実施に努めてまいります。引き続きご理解とご協力の程よろしく申し上げます。

【調査設計課 小牧健二】

近畿地方整備局河川調査官 が川上ダム等を視察

4月18日（火）、国土交通省近畿地方整備局の宇根河川調査官が川上ダム建設事業の視察のため来所されました。当日の午前中から伊賀市内の河道掘削状況や上野遊水地等、治水対策の状況について視察され、引き続き川上ダムの進捗状況等について視察されました。

川上ダム建設所で事業概要の説明の後、ダムサイト（ダム堤体の建設予定地）右岸及び西之沢橋（ダム堤体の建設予定地の直上流）等から現在の工事



ダムサイト右岸からの視察



西之沢橋からの視察

進捗状況や今後の工事予定などについて説明を行いました。また、平成29年冬前に全線供用開始予定の付替県道青山美杉線の状況についても確認していただきました。

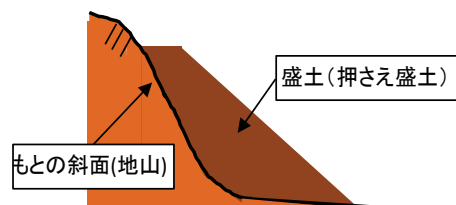
河川調査官からは、「川上ダムは本年度からダム本体工事に着手する予定と聞いており、引き続き、平成34年度建設事業完了に向けて鋭意進めてほしい」との話がありました。一日も早い川上ダムの完成を目指し、関係機関との連絡を密にして事業を進めてまいります。【副所長 松岡義幸】

上川原地区斜面对策工事について ～建設ICTを活用して～

ダムが完成して水を貯めたとき、それまで山の高いところにあった斜面が水没します。水を貯めても、安全で安定した斜面にするため、対策工事を行っています。

今月号では、現在、上川原地区で行っている盛り土工事を紹介します。押さえ盛土とは、右図のとおり、斜面の前面に土を盛って、もとの斜面を

より安定化させるための工事です。この工事では、約4万 m^3 （大型ダンプトラックで約8千台分）の土を最高約25mの高さまで盛ります。土を盛ると言っても単に盛るだけでなく、品質確保のために決められた厚さ（30cm/層）で少しずつ締固めていく必要があります。締固めとは土を叩いたり、土に振動を与えて盛土の中の隙間を小さくし、盛土の品質を高くすることです。本工事においては①決められた厚さとなるように自動的に調整しながら土を敷き均すことができるブルドーザを使用、②土がきちんと締め固まっているかをリアルタイムで確認できる締固め機械（振動ローラ）を使用、という2つの建設ICT（情報通信技術）を活用することで、従来よりも省力化を図りつつ、高い精度で盛土の品質を管理しております。今後もこのような最新の技術を活用して、高い品質のものを早く安く得るための取り組みを行っていきたいと考えています。



押さえ盛土による斜面对策のイメージ



上川原地区の斜面对策工事の状況（H29.4末）



土が一定の厚さとなるように自動的に調整しながら敷き均します

振動を与えて土を締固めます
その時、締固めの度合いも分かります

【工事課 市川滋己】

岡八幡宮 流鏝馬神事



華麗な武者姿で疾走する馬上の射手

4月16日(日)、伊賀市白樫の「岡八幡宮」において、家内安全などを願う流鏝馬神事が行われました。岡八幡宮は、「鶴岡八幡宮」の第1番目の末社として、源頼朝の直命により建立された由緒ある神社です。本社の鶴岡八幡宮では流鏝馬神事が毎年行われていますが、岡八幡宮においても、建久元年(1190年)の創建以来、約800年もの間、流鏝馬神事が大切に引き継がれてきました。

この流鏝馬神事は、騎手不足などにより一時期開催できなくなったそうです。しかし20年前に現在の大井宮司の熱意により、馬術の指導者である東堤氏、日本屈指の流鏝馬の達人である藤井氏の協力を得て流鏝馬神事が再興されることとなりました。今年は「再興から成人の日」を迎える特別な年であり、晴天のもと大勢の参拝客が訪れました！颯爽と馬に乗り、瞬時に矢的を射る騎手の姿は勇壮そのもので、宮司や関係者の方々の、神事への熱いお気持ちまで伝わってきました！



お見事！命中！



宝蔵院流高田派槍術の奉納演武

また、境内の森は宝蔵院流槍術高田派祖・高田又兵衛(「槍の又兵衛」)が修行をしたことでも知られています。伊賀国白樫に生まれた又兵衛は、宝蔵院流槍術で槍法を学び、剣術や薙刀を融合させた宝蔵院流高田派槍術を創出しました。攻防に非常に優れた槍術で、その名は全国に轟き、門下生は全国7千人にもものぼったそうです。現在も槍術の代表的な流派であり、当日は同派の方々により、奉納演武と解説が行われました。武芸を愛した源頼朝ゆかりの地で、古くから伝わる武道や神事を拝観し、とても貴重な1日となりました！

【経理課 谷村正子】

新緑まぶしい伊賀焼の里に行ってきました！

5月3日(水)に、伊賀市丸柱で開催された「新緑伊賀焼陶器市」に行ってきました。この陶器市は、伊賀焼の窯元が集まる丸柱地区において、多数の窯元や陶芸作家による作品展示及び即売が行われるもので、毎年5月2日から4日にかけて開催されています。



新緑がまぶしい丸柱地区



掘り出し物を探します！

陶器市会場には窯元や陶芸作家の多数のテントが並び、大勢の来客が品定めをしていました。伊賀焼は、約1300年の歴史があり野性味と自然美が特徴的です。これらの作品を目の前で見ることができ、アウトレットものなどを手頃な価格で購入できるのが陶器市の最大の魅力です。

初めて伊賀焼の里を訪れた筆者は、新緑の里山の景色や、すがすがしい空気を満喫し、さらに掘り出し物？の湯呑みを手に入れることができ、納得の一日でした。皆様も伊賀焼の器で、おいしい伊賀肉と伊賀のお酒を楽しまれてはいかがでしょうか。

【総務課 大西誉朗】

忍者市で開催、伊賀上野NINJAフェスタへ！

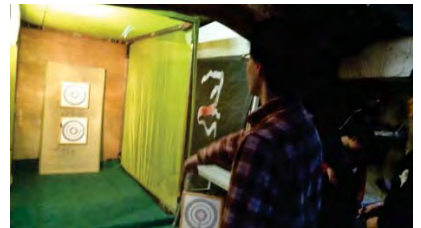
今年の2月22日（忍者の日）に伊賀市は「忍者市宣言」をしました。そんな伊賀市で開催された伊賀上野NINJAフェスタ（4月1日から5月7日開催）に記者2人で行ってきました。市内には、忍者衣装に着替えた人も多く、まさに忍者のまちとして賑わっていました。

市内のまちかど忍者道場では、忍者修行を体験することができます。私たちも体験してきましたので、その中から3つをレポートします。

まずは「忍者といえば手裏剣！」ということで、手裏剣です。スナップを効かせるようアドバイスを受け意識したものの、なかなか狙った場所に投げることができませんでした。続いての吹き矢は、最初は上手くいきませんでした。息を吹く強さを調整したところ、思うような位置に飛んでいくようになりました。最後に、弓矢に挑戦しました。弓の扱いが難しく、思ったところに飛ばず、



網棚に忍者が！！！！



手裏剣 思うように飛びません・・・



吹き矢
息を調整して...



弓矢
狙いを定めて、いざ！

点数が伸び悩みました。これらの修行を通じ、様々な忍術を使いこなす忍者の凄さを改めて実感しました。この他にも、忍者パズル道場、天井すいすい道場、行灯消し道場があり、いずれも興味深いものでした。

これらの道場での成績によって、上忍・中忍・下忍の3ランクに割り振られますが、参加した記者2人とも、下忍という結果に終わりました。中忍以上を狙えるよう、修行を積みたいと思います。

また、伊賀市内にはNINJAフェスタ期間外でも、忍者に変身できる場所や手裏剣打ちができる場所があります。ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。 【総務課 関澤佳晃】

本誌に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層楽しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本誌に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせさせていただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課

TEL 0595-52-1661 Mail somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受けいたしかねますのでご了承ください。

イベントのお知らせ

ほたる祭り

開催日：平成29年6月10日（土）
開催場所：博要の丘（博要地区市民センター）
問合せ先：博要地区市民センター
0595-55-2004

竹灯りコンサート&ほたる鑑賞会

開催日：平成29年6月10日（土）
開催場所：常福寺・北川堤防（伊賀市古郡地内）
問合せ先：神戸地区市民センター
0595-38-1300

編集後記

新緑が心地よい5月も終わり、じめじめした6月がいよいよやってきます。気温、湿度ともに上がり、熱中症になりやすい季節です。こまめに水分補給をして、体調を崩さないようにしましょう。

【広報誌発行事務局】

編集長	北牧（所長）	
デスク	大西（総務課長）	小谷口（工務課長）
記者	関澤（総務課）	桐山（第二用地課）
	赤尾（調査設計課）	青木（工務課）
	河野（工事課）	佐々木（機械課）